



Merry Christmas!



「声なき者の友」の輪

Friends with the Voiceless International

News Letter

小さな愛の種を蒔こう



からし ネット公開中!!

<http://www.karashi.net>

世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪  
ニュースレターVol. 51 (2023年12月発行)

## 「共にいる」ことを選ばれた神

「愛」は、共にいることです。私たちと共にいるために、神であるお方が弱い赤子の姿を取って罪に汚れた地上に誕生してくださった「クリスマス」。この季節、神の愛の深さに心を向ける時といたしましょう。

代表カタリスト 神田英輔

## 世界食料デー登別大会の32年の歩み

～地域と世界に仕える教会～

今年10月、コロナがほぼ収束する中、第32回世界食料デー登別大会に久しぶりに伺いました。32年にわたり、北海道登別市で世界食料デー大会実行委員会委員長を担われる高橋敏夫師（同盟キリスト教団・登別中央福音教会名誉牧師）は、世界の飢餓に目を向けて、世界の人たちのいのちを守る良い働きに市民の皆さんと共に関わるお世話役を、登別市に置かれた教会として携わりたいと願ってこられた方です。人は本来、良いことに関わることで生かされる充実感を味わうように造られているという信念から活動することに意義を見出されたのです。市民の皆さんと共に世界に目を向け、市民の様々な賜物を生かす場を作り、人々をつなげてきた働きは「パンを水に投げるように」と「教会から手放す」ことを促されたことで、自立した市民活動として歩みだし、教会は地域に仕えることに徹したのです。



高校生ボランティア、モールでの啓発活動

年一回10月の市民ホールでの大会開催に留まらず、別の季節にはショッピングモール経営者の協力を仰ぎ、国際児童画展を開催してモールにとって客足につながる相互恩恵の関係を築く、実行委員や関心を持つ町のリーダーを交え、中高生たちを招待して学びと交わりの夕食懇談会を企画運営する、世界に目を向ける子どもたちを育てる大切さを一緒に考えたいと地域の各団体から実行委員を推薦して頂き、高校の顧問とも連携するなどの働きをされてきました。また、地域でビジネスに携わる方々の定期懇親会のひとつ登別ロータリークラブや国際ソロプチミスト登別との連携もされています。世界食料デー当日には、市内外3校から高校生のボラン



FAO 日本事務所、高校生スタディツアー

ティア・グループが大会サポートと学びのために参加し、有志の男声コーラス・グループが応援の歌を合唱する場も設けられています。市長さんも時間があれば駆けつけ、参加されます。登別市民みなで顔を合わせて世界の課題に目を向け、人のいのちのための必要を知り、世界の人々のために小さな良いことを喜んで実践する機会を醸成し続けているのです。

さらに、世界食料デーは国連が定めた日ですので、FAO（国連食糧農業機関）日本事務所とも連携し、2年に一度、学校推薦の形で関心がある高校生たちを招待し、夏休みに学びにでかけています。

この働きは、32年間の高橋師の地道な地域の様々な分野の方々との信頼関係構築と市民と共に良いことにつながろうとするネットワークづくりで続いてきたのです。32年間、市民を世界につなげる市民運動に徹したことで近年、この働きは市民の自立的参加という理解が深まる感触を得ているようです。

今年の世界食料デー登別大会では、FVIカタリストとして私（柳沢）は、「世界は変わる。変わらない愛を届けよう」というタイトルでお話をしました。32年を経て、飢餓で苦しんだアジアの国の中には、教育、保健、貯蓄と小規模事業といった基礎知識を実践することで住民の経済活動が軌道に乗り、飢餓がなくなるうれしい知らせと国の経済も成長して「国連最貧国待遇」を卒業するまでになったこと、それと同時に、昨年からの痛ましい戦争により、食料生産の不安定化や供給網の遮断といった新たな世界の食料問題が現れていることをお伝えしました。これは、市民の皆さんにとっては、毎年の小さな分かち合いが積み重ねられて飢餓で苦しんで地域が変わることに貢献した証しであり、何よりも、世界食料デー登別大会の実行委員会が目指してきた「分かち合いの心」が、今まで途上国と言われてきたアジアの村や次世代の間で広がる実を知るときだったのです。良いことに携わり続けた結果をお伝え出来たことは、私にとっても感慨深いものでした。



登別市民の皆さんがこれからも、本来造られたものとして、良いことに関わり生かされる充実感を味わう世界食料デー大会、また、世界に良いことが広がるように目を向けて関わる輪に参加し続けられるように、この市民運動の上に祝福を心から祈りたいと思います。そして、この輪が日本中の市町村に広がり、働きの一端に加わる市町村民の皆さんが、それぞれの地域から世界とつながり、いのちを生かす良いことに喜んで参加して歩めますように心から祈りたいと思います。

（カタリスト 柳沢美登里）

## その他の活動（2023年9月～11月）

第7回日本伝道会議・分科会、海津キリスト教会（以上岐阜市）、世界食料デー登別大会（登別市）、首都圏セミナー（市川市）、活けるキリストー麦教会（愛知）、人吉聖書教会・ともしび聖書チャペル合同礼拝（熊本）、世界食料デー関東大会、北上尾福音自由教会、埼京のぞみチャペル（埼玉）、世界食料デー東北大会、大槌町文化交流センターおしゃち講演会、釜石こども園（以上岩手）、世界食料デー岡山大会、西大寺キリスト教会、芳泉伝道所（以上岡山）、弘前富士見教会、弘前学院大学（講義・チャペル）、弘前大学（講義）、東奥義塾高校（以上青森）、緑の牧場教会・大館チャペル創立30周年記念礼拝（秋田）、万座温泉ホテル日進館・カルチャー講演会・チャペル（群馬）、豊かな命教会・安曇野ファミリーチャペル合同礼拝（長野）などにおいて、カタリストがカタリスト（触媒）としてZoom・対面によるセミナー、講演会などの奉仕させていただきました。皆さまと共に隣人を愛する化学反応が起こることを祈っています。

## 働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「FVI」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱東京UFJ銀行の口座もご利用いただけますので、お問い合わせください。

- \* このレターは、希望された方に郵送させていただいています。送付先の変更、差し止めなどは、事務局にお知らせください。
- \* 国内のカタリストを支援する場合、カタリスト名を、海外の活動を応援する場合、国名などを通信欄にご明記ください。

● 「声なき者の友」の輪：事務局 email:info@karashi.net 090-3036-2776（神田）